

# OISA NEWS

OITA  
INFORMATION  
SERVICE INDUSTRY  
ASSOCIATION

2016. 1

67

発行：大分県情報サービス産業協会  
会長 森 秀文  
<http://www.oisa.jp>  
編集：広報委員会  
事務局：大分市城崎町2-6-31  
(大銀コンピュータサービス(株)内)  
TEL (097) 537-5918  
FAX (097) 534-4545  
印刷：佐伯印刷株式会社

大分県情報サービス産業協会

## 新年号

### CONTENTS

2016年迎春 森秀文会長挨拶	2
第27回OISA技術交流会開催	3
第19回「技術研究会」発表会開催	4
第22回OISA研修委員会研修の実施	5
平成27年度 第1回OISA視察研修旅行	5
第21回 OISAボウリング大会開催	6
フレッシュさん紹介、新年例会のご案内	7
第24回サウンズコンテストのお知らせ	8

朝日 (佐伯市)

# 2016年 迎春

～大分県情報サービス産業協会会長 新年ご挨拶～



大分県情報サービス産業協会  
会長 森 秀文

## 新年あけましておめでとうございます。

新年あけましておめでとうございます。年末年始はいかがお過ごしでしたでしょうか。それぞれの過ごし方で英気を養い、清々しい2016年をお迎えの事と思います。

今年は昭和におきかえますと91年。大正で105年。明治で149年です。そう考えますと違った歴史観を感じ新鮮な発想が生まれる気がします。今年こそは夢を実現する年にしたいものです。

昨年の大分県はOPAM（大分県立美術館）グランドオープン、JRおおいたシティ開業、DESTINATIONキャンペーン、東九州自動車道全面開通効果等により、新たな交流を生みだし、上々の経済効果が現れました。

そして今年は申年。高崎山効果も加え、更なるインバウンドも見込め、経済活性化、元気な大分県を期待したいものです。

さて昨年10月から付番通知、この1月から順次、運用開始のマイナンバー制度。行政の効率化、住民の利便性を高めて、公平公正な社会を実現する社会基盤を作ることが制度導入の趣旨であります。

まずは社会保障（年金、労働、医療、福祉）、税、災害対策に利用が限定されスタートしました。順次、運転免許証や教員免許、お薬手帳。いずれ預金口座の紐付けも義務化されるという事があります。

元を辿れば1970年代の大平内閣時代より、納税者番号として幾度も議論されてきた国民総背番号制であり

ます。しかしながら、一般国民にはメリットが見えにくいものであり、情報漏えい対策の遅れや、ベネッセコーポレーションの4,000万件の顧客情報漏えい、昨年5月の年金データ漏れ。また、なりすまし（不正利用）や、データの一元管理（実際には分散管理）への不安。何よりも企業経営者の取り組み姿勢、認知度の低さが心配される所でもあります。年末の着手率は20%に過ぎず、残りは未着手であります（全く取り組んでいない、取り組みたいがどうしてよいか分からない）。各地、各団体で行われている企業説明会等に早急に参加し、正しい理解を深める事が必要であります。また、マイナンバー制度の安全安心な立ち上げにICT業界もしっかりと手助けしたい所でもあります。

これまでも、これからも、業界は桁違いの進化の速度で進んでいくものと思われまます。野村総合研究所の分析によると、10～20年以内に日本で働く人の49%は人工知能（Ai）やロボットで代替できるようになるらしく、その数は約2,500万人にもものぼるとの事です。

米国の未来学者レイ・カーツワイル氏が提唱したコンピューターが人類の知性を超えるとする説。2045年にはその日が訪れると予測しています。『シンギュラリティ（技術的特異点）』というそうです。

ところで、当協会は既にご案内の通り県内に事業所を置くICT会社、大手メーカー等で構成されており、官学の皆様との連携も年を追うごとに強化され、技術力は勿論、社会貢献活動にもその効果が評価されている所でもあります。

改めまして、本年も会員各社の皆様、関係機関及び関連団体の皆様の御指導、御支援、御協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、当面各協会が共通して持つ課題が、会員確保であります。会員に依存する所も多く、会員支援を強化し会員増を図るしかありません。魅力ある協会とは協会特有の取り組みを強化するとともに、会員が求める情報や、会員に有効となる情報を提供する事が必要となります。その為、各委員会をより一層充実させ、会員が自由に活動できる場をこれからも提供し続けていきたいと考えています。

皆様にとりまして2016年が夢と希望に満ちた素晴らしい年でありますように、心から御祈念申し上げます。新年の挨拶と致します。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 第27回 OISA 技術交流会開催

テーマ：「他人事ではないサイバー攻撃、標的型  
攻撃メール、この実状をえぐり出す！」

講師：日本セキュリティマネジメント学会  
常任理事 萩原 栄幸 氏

日時：平成27年12月2日(水) 13:40～15:00

場所：大分商工会議所ビル 6F大ホール

OISA 技術交流会は、業界の最新技術動向について、産学官の先進的な研究成果やノウハウを持つ講師を招くことにより、大分県における情報サービス関連技術の向上および発展を促し、更なる振興を図る事を目的に毎年開催されています。27回目を迎える今回は、講師に日本セキュリティマネジメント学会常任理事の萩原栄幸氏をお迎えして、講演をいただきました。今回は24団体93名の参加をいただき、大変活況を呈しました。

### 【講師プロフィール】



講師の萩原 栄幸 氏

旧通産省の情報処理技術者試験で最難関である「特種」に日本最年少で合格。早稲田大学システム科学研究所に通学後、プロジェクトリーダーとして多数のシステムを担当。2011年12月に世界で初めてAndroid OSの

ウイルス対策ソフトが現状のものではパソコン並みではないことを実証実験より解説し世界の注目を浴びた。2008年6月まで22年間三菱東京UFJ銀行に勤務。現在は、セミナーや講演会、雑誌やネット投稿記事などで多くの実績を有し、経営やITコンサルタントとしても全国で活動中。

### 【講演内容】

#### 1. 情報セキュリティを取り巻く世界

情報セキュリティは例えれば「暴れ馬」、少しでも立ち止まったりボケ～としていれば、あっという間に振り落とされる。世間では情報セキュリティは重要だと誰でも話している。しかし、実態は我が身に「情報漏えい」や「内部犯罪」が起きない限り、年々縮小してしまう。管理者の方々にまず伝えたいのは、そういう環境であるにも関わらず、様々なやっかい事を情報セキュリティに追っ付けて、業務が膨大になっているのが現状だということ。

#### 2. 平成27年度上半期の警察庁の調査結果

標的型メール攻撃は1,472件で、前年同期比1,256件・581%増。ネットバンキングに係る不正送金被害額は約15億4,400万円(前年下半期超え)。サイバー犯罪検挙件数は3,689件で、都道府県警察の相談窓口で受理した相談件数は59,073件。インターネットの不審アクセスは、1日・1IPアドレス当たり684.9件(前年同期52.8%増)。調査結果から、各種攻撃の試みが年々活発化している状況が窺える。

#### 3. プロバイダー15社の恐ろしい実験結果

以前にTelecom ISAC JapanとJPCERT/CCおよび主要

プロバイダー15社で実際に行った「ボット：PCを外部から遠隔操作するためのバックドア型不正プログラムの一種」の調査で判明したことを抜粋して紹介する。①国内PCの2.0～2.5%がボットに感染済。(100万台程度?)②感染端末1台あたりのスパム送信能力は1時間あたり6,890通(1秒間に2通程度)、最大では1万通以上。(現在の高性能PCなら、たぶんこの倍の数値になる)③未対策PCをネット接続すると平均4分間で感染。④多くがウイルス対策ソフトの機能停止を試みる。⑤企業イントラネット侵入のケースも散見される。

#### 4. サイバー攻撃・戦争について

韓国の大規模サイバー攻撃は、日本でも「有り得る」。「対岸の火事」ではなく「反面教師」として学びとり、「うちは大丈夫なのか？」を自問自答して改善点を見つけて修正する必要がある。日本年金機構の情報漏えい事件を例にすると、「怪しいメールは開くな」では警告としては極めてまずい。怪しいメールは9割以上がアダルト系であるが、標的型メールの一部は「怪しくないメール」の形でくる。また、ごく一般的になったSNS (facebook、twitter、LINE、etc)、メールについても危険である。

#### 5. 費用対効果からみる対応法

- ①内部不正、マイナンバーなどネット系でない対策と別々に考えるだけでコストは約3割増になる!
- ②ウイルス対策については、どのソフトもドングリの背比べと思ってはいけない。
- ③多層防御+振る舞い検知(サーバーやルータの振る舞い検知+究極の不正対策の振る舞い検知の両面)が基本。
- ④入口対策は最悪無視しても良い。出口対策は最後の砦。重視することが望ましい。
- ⑤「〇〇をさせない対策」を考えるのではなく、「そうなった場合の体制・システムを熟慮」すべし!

#### 6. 業者は参考にしても頼るな!

3年前に私の講演を聞いた某システム担当者は基幹システムのチェックを私に依頼(1年契約)。その結果1億6千万円もの削減に繋がった!優良業者でもシステムの品質は落とさないが作業の水増しはするもの。〇〇さんを信じないということではない、贅肉をそぎ落としただけである。

#### 7. ネット系システムではテスト系での手抜きが多い

HP制作後のペネトレーション・テストや典型的な脆弱性テストは、必ず正規従業員の手で専門業者を交えてチェックしたい。そのためにシステム担当者には最低限のスキルを持たせる教育体制が不可欠である。

#### 8. 最後に

どんな高価なシステムも機器も、それを使い運用するのは「人」である。実は人が最も脆弱なポイントでもあるが、最も強固なポイントにもなり得る。松下幸之助氏の「企業は人なり」の言ではないが、「我が社」として最も重視すべきことは人の作業環境や成長であり、それが「我が社」の成長であるという意識を持つこと、目に見える機材や設備投資にお金をかけるのではなく、人が財産であり、人の教育に最もお金をかけるべきであるということを念頭に置いていただきたい。

(技術委員会)



# 第19回「技術研究会」発表会開催

日 時：平成27年12月2日(水) 15:15～17:00  
場 所：大分商工会議所ビル 6F大ホール

技術委員会が主催する平成27年度「技術研究会」発表会が開催されました。この研究会は、毎年会員各社の中堅および若手の技術者が集まってソフトウェアの技術研究を共同で行うもので、今回で19回目となります。

今年度は「HTML5」「オープンデータ」の二つの研究部会を設けて募集を行い、大分大学大学院生を含め、18名の参加者により、部会ごとに具体的なテーマを決めて実際の研究活動を行ってきました。

発表会では、産学連携をより深める取り組みとして大分大学の「研究シーズ」を紹介していただきました。

## ●大学研究シーズ発表

テーマ：「AR (Augmented Reality) によるITインフラの運用業務支援および技術教育支援」

発表者：大分大学工学部技術部技術専門職員 兼大分大学大学院工学研究科博士後期課程大学院生 原 稔 幸 氏



この研究は、大分大学の知能情報システム工学部の業務に取り組む際、現場で起きる様々な問題について抜本的な解決方法を試すために行った。運用支援および実験実習の現場で起きる問題は、

情報・知識・経験の不足によるものであった。これを解決するための先行研究としてVR (Virtual Reality: 仮想現実) の研究を行ったが、これだけでは状況に応じた適切な情報と知識の提供ができない。このためAR (Augmented Reality: 拡張現実感) を用いた情報の提示技術を使い、マシンの前にいながら、目の前にVLAN構成情報を重畳表示させる「VLAN情報可視化システム」を構築した。これにマーカーレス、位置推定技術、画像による機器特定技術を盛り込みシステムを構築している。これにより、学生実験支援の実現、実験機器の情報表示、また学生全員が見えやすくなるためのプロジェクトによるARの実現といった研究や、業務現場で起きる様々な問題についても研究を行っている。

これら研究は、一般企業のシステム運用業務を始め、今後幅広い分野にも応用できる研究として期待されている。

## ●部会研究発表

### ① HTML5部会

テーマ：「モバイルアプリをHTML5で作る」

内 容：モバイルアプリ作成にHTML5を利用することをテーマに活動、部会員からは、HTML4との違いや個々のモジュール説明が発表された。部会活動として、HTML5を使ったアプリ「お店マップ」を作成、開発環境にはMonacaを使用した。会員には開発経験者が

いなかったが、アプリのデモビデオまで作成することができた。HTML5を利用することで、モバイルアプリ開発が容易に実現できることを紹介いただいた。

### ② オープンデータ部会

テーマ：「オープンデータを使ってできること」

内 容：オープンデータは、誰でも自由に利用・再利用・再配布ができる技術であり、その実状を明らかにすることをテーマに活動。部会員からは、事例や現状を調査し公開する手順が発表された。また、実際にオープンデータを使った、大分市内のイベント会場・駐輪場・公園のマップアプリの実演が行われた。日本ではオープンデータの取り組みや公開が遅れており、大分県内には公開している自治体がないという状況ではあるが、今後オープンデータを活用して何ができるのかの具体的な事例を紹介いただいた。

各部会とも、本務の傍ら十分な時間が取れない中での研究活動であったと思われませんが、いずれも新しい技術動向に対して精力的に研究し、実業務への影響や新たな事業展開の可能性を視野に入れた前向きな取り組み姿勢に感心しました。

最後に安達委員長より講評とお礼を申し上げ、各部会の代表者に対して研究活動の労をねぎらいました。なお、各部会の発表資料は当協会のホームページにて公開しております。

(技術委員会)



HTML5部会



オープンデータ部会

# 第22回 OISA研修委員会研修の実施

毎年行っているOISA主催研修も、今年で22回目を迎えました。

本講座はJISAの補助金を受けて開催しており、今年度は会員企業の皆様からのアンケート結果を参考にしつつ、〈参加のしやすさ〉を重視して日常業務に関わるテーマを2講座開催しました。実施したのは、「表現手法研修」(2日間コース)と「スケジュール管理手法研修」(1日間コース)です。

いずれの研修も演習をふんだんに取り入れ、身近な題材をテーマに実際の業務に活かせる工夫がされており、受講者からの評価も好評でした。

今年度の良かった点や反省点を踏まえ、来年度も皆様のご要望に沿った形で充実した研修メニューを考えていきます。年初に例年実施させていただいています、研修ニーズのアンケート調査を行う予定です。皆様からのご意見、ご要望をお待ちしています。(研修委員会)



講座名	実施日	参加者人数	参加企業数
SEのための表現手法研修	平成27年10月22日(木) ～23日(金)	9人	6社
SEのためのスケジュール管理手法研修	平成27年11月10日(火)	18名	8社

## 平成27年度

# 第1回OISA視察研修旅行

日程：平成27年8月27日(木)～28日(金)  
視察先：航空自衛隊 新田原基地(宮崎県児湯郡)  
南日本酪農協同株式会社 都城工場(宮崎県都城市)  
参加：11社18名

### 1日目 視察内容

#### 航空自衛隊 新田原基地

資料館にて新田原基地についてのDVDを鑑賞し、広報担当の自衛官の方より自衛隊の任務について説明を受けました。

航空自衛隊の主な任務は、領空侵犯に対する措置、災害派遣、自衛官の養成・訓練との事で、領空侵犯に対する措置では、全国28箇所のレーダーサイトで監視し、領空侵犯の機体を発見するとホットスクランブルがかかり、国籍・機種確認から強制着陸までの警告を行うとの事です。昨年は年間で943回のスクランブルが発動されたとの事で、その大半はロシアと中国の機体だそうです。

災害派遣については、U-125A(救難捜索機)やUH-60J(救難ヘリ)による物資や、けが人の空輸及び人命救助を行っているとの事でした。また、自衛官の養成・訓練をT-4(中等練習機)を使って行っているとの事でこのT-4の機体はブルーインパルスと同じ機体だそうです。



説明を受けている風景



集合写真

説明を受けた後は基地内をバスにて移動し車窓より基地内施設を見学しました。そして旧管制塔屋上より駐機しているF-15J・DJイーグルが次々に発進するところを見学しました。なんとも圧巻でした。ちなみに、F-15イーグルはマッハ2.5(音速の2.5倍)、時速にすると3,000km/hの速さで飛行し東京まで17分で着くそうです。

### 2日目 視察内容

#### 南日本酪農協同株式会社 都城工場

研修室にて会社概要のDVDを鑑賞後、担当職員の方より乳牛の飼育から乳製品の製造までの説明を受けました。



集合写真

都城工場は1年365日毎日稼働しており総勢320名の方が勤められているそうです。牛乳の生産量は200ml瓶換算で約100万本を1日に生産しているとの事で、製造する乳製品の種類は全200種類でその内75種類の乳製品を1日で製造するとの事でした。

説明を受けた後は実際に牛乳やバター製造ラインや、職員の方達が乳製品の品質検査を行っているところや、ロボットが出荷の作業をしているところを見学しました。(企画委員会)

# 第21回 OISAボウリング大会開催

開催日：平成27年11月18日(水) 場所：OBSボウル

大会は23社36チーム144名の参加を得て、盛大に開催されました。競技は、1チーム4人で構成され、2ゲームのトータルスコアで団体戦と個人戦が競われました。

競技終了後、表彰式が行われ、小野理事の挨拶に続き、上位入賞者の表彰と賞品の授与が行われました。また、上位入賞者の記念撮影があり、和やかな雰囲気で大회를終了しました。

今大会は、団体戦では大銀コンピュータサービスAチームが3大会ぶりに優勝し、個人戦ではモバイルクリエイイトAチームの小野仁志さんがトータル410点で優勝を勝ち取りました。

次回も皆様のご参加をお待ちしています。(イベント委員会)



小野理事挨拶

## 団体戦の部

順位	チーム名	総得点
優勝	大銀コンピュータサービスA	1,338点
準優勝	オルゴA	1,305点
3位	モバイルクリエイイトA	1,252点
4位	オーイーシーA	1,233点
5位	九州東芝エンジニアリングA	1,227点
6位	コンピュータ・エンジニアリング	1,226点
7位	オーイーシーB	1,157点
8位	KCS大分情報専門学校A	1,153点
9位	富士通九州システムズ	1,118点
10位	三菱商事太陽A	1,107点



優勝チーム

## 個人戦の部

	氏名	総得点
男子ハイゲーム賞	小野 仁志(モバイルクリエイイトA)	410点
女子ハイゲーム賞	河村 美樹(オルゴA)	330点



準優勝チーム



女子ハイゲーム賞 330点  
河村 美樹さん  
(オルゴA)



男子ハイゲーム賞 410点  
小野 仁志さん  
(モバイルクリエイイトA)



ゲーム中の様子

## フレッシュさん紹介 よろしくお願いたします。

鶴崎海陸運輸株式会社  
システム事業部

岐部 友美

趣味：音楽鑑賞  
好きな言葉：先手必勝



株式会社オルゴ  
営業推進部

冨永 夕綺

趣味：旅行  
好きな言葉：為せば成る



株式会社富士通九州システムサービス  
社会ソリューション本部  
ISP・クラウドソリューション部

周 琪瑤

趣味：音楽鑑賞、映画鑑賞  
好きな言葉：一期一会



昨年の4月に入社し、システム事業部に配属されてもうすぐ1年になります。

入社当初は、社会人として働いていくということへの不安や、新しい環境で過ごすことへの戸惑いなどから失敗することも多くありました。しかし、上司や先輩方にご指導していただき日々の業務を行ううちに、少しずつ仕事や環境に慣れていくことができています。

現在は、社内システムの開発の仕事をしています。まだまだ未熟な部分も多くあり勉強することばかりですが、仕事へのやりがいや達成感を味わうことができています。この1年は与えられた仕事をこなすことで精一杯でしたが、これからたくさんのことを経験し、日々の学ぶ姿勢を忘れずに自分自身のスキルアップに努め、今後も一生懸命頑張っていきたいと思っています。

入社して9ヶ月が経ちました。文系出身であるため、新しいことの連続で、戸惑うことが山ほどありますが、未知の分野に挑戦する良い機会を得たという気持ちで取り組んでいます。

現在営業推進部に配属され、緊張と不安の中、お客様を訪問していますが、そんな中で、「前より営業らしくなったね」とお客様に言っていただけたことは私の励みになっています。一人前になるには先が長いですが、一人でもそのように感じてくれる人が増えるよう努めていきたいと思っています。

まだまだ、仕事の速さにも正確さにも欠け、失敗や時間のロスもしてしまっていますが、昨日より今日、今日より明日と日々成長していけるよう精進していききたいと思っています。



昨年の4月に入社し、大分事業所に配属されて9ヶ月が経ちました。大分事業所初となる外国人採用者として、日々一生懸命頑張っています。出身は大分市の友好都市でもある、中国の武漢市です。6月に大分に配属されて、非常に不安でいっぱいでした。大分に来るのが初めてですから、当然知り合いも友達も一人もいません。しかし、職場の良い環境に恵まれて、先輩たちがとても優しく、仕事面だけではなく、生活面でも困ったことがあれば、すぐに助けてくれます。

現在、実業務としてクラウドサービスの運用作業に携わっています。お客様のサービス環境で作業を実施しているので、一歩間違えたら大事になります。このような緊張感の溢れる毎日の中で、しっかりと自分を磨きながら、楽しく仕事ができるようなSEを目指していきます。

## 新年例会のご案内

1. 日時 平成28年1月27日(水)  
15:30より(受付 15:00より)
2. 場所 トキハ会館 5階ローズの間  
大分市府内町2丁目1番4号  
(097) 538-3111

### 3. 新年例会

- (1)新年挨拶 15:30～16:00  
森会長挨拶、来賓挨拶
- (2)特別講演 16:00～17:30  
①講師 矢野 大和氏  
②演題 仮題「日本人の財産」
- (3)新年祝賀会(パーティー) 17:30～  
①祝賀会会場 5階ローズの間  
②会費 お1人につき 5,000円

### <矢野 大和氏プロフィール>

- 1956年 佐伯市宇目町鷹鳥屋神社の宮司の長男として生まれる
- 1980年 宇目町役場に勤務
- 1989年 鷹鳥屋神社 宮司になる
- 2001年 国民文化祭さいたま全国素人落語競演会にて最優秀賞を受賞
- 2005年 「宇目町観光大使」に任命される
- 2011年 佐伯市職員となり「佐伯市観光大使」に任命される
- 現在 「大分観光特使」「県南落語組合会長」年間400回を超える講演で活躍。



第24回

主催:大分県情報サービス産業協会

コンピュータミュージック

# サウンスコンテスト

ON THE COMPUTER

**ライブ** コンテスト結果発表までの間、お楽しみ下さい!

コンテスト

公開審査・結果発表

**入場無料**

平成28年

1月30日 **土**

13:30~17:00

公開審査の様子は  
ネットで生中継!

**SPATIO スペシャルライブ**

16:15~16:45 (運営の都合で前後します)



2014年度トリニータ応援歌部門最優秀賞を受賞した「We love TRINITA」を歌わせていただいている大分のご当地アイドル「SPATIO」です。これからも同じご当地のアイドルとして、歌とダンスで大分トリニータさんを応援していきたいと思っております。

## 表彰について

- 全部門内より1名グランプリ賞 (総合1位)  
〈トロフィー・賞金と賞品多数〉
- ①フリー曲部門
  - ① 学生の部 (1位・2位・3位) 〈賞状と賞品多数〉
  - ② 一般の部 (1位・2位・3位) 〈賞状と賞品多数〉
- ②応援歌部門
  - ① 大分トリニータの部 (最優秀賞)  
開幕戦 (ホームゲーム) にて曲をトリニータに贈呈  
シーズン中ゲーム前に披露される
  - ② ふるさと応援歌の部 (最優秀賞)

## ところ

**ホルトホール大分 小ホール (1階)**

JR大分駅 上野の森口 徒歩2分 大分市金池南1丁目5番1号 TEL 097-576-7555 (代表)

コンテストの内容は全て収録されたものを後日、**OCTホルトチャンネル (121CH)** で放送いたします!

**後援** 大分フットボールクラブ・日本文理大学・大分合同新聞社・NHK大分放送局・OBS大分放送  
TOSテレビ大分・OAB大分朝日放送・エフエム大分・OCT大分ケーブルテレコム

**協賛** 大分フットボールクラブ・日本文理大学・Oita Sound Creator協会

**お問い合わせ** 大分県情報サービス産業協会 コンテスト事務局  
TEL 097-568-4600 FAX 097-569-0121 担当/大熊 (ゴードービジネスマシジ様)

<http://www.oisa.jp/sounds/>

QRコード

